

2017 秋のセミナー/指導力・支援力向上セミナー

公益社団法人発達協会

・講演内容

子どもの理解と指導・支援に活かせる情報が満載の秋のセミナー/指導力・支援力向上セミナー。今年度は、経験年数が少ない方にお勧めの「基礎から学ぶ発達障害のある子への支援」が新たに加われました。その他、例年ご好評をいただいている「感覚」や「コミュニケーション」、「衝動的な行動」といったテーマも揃えております。いずれも1日単位での開催です。皆様のご受講をお待ちしております。

各セミナーの詳細につきましては弊法人のホームページをご覧ください。

HP：<http://www.hattatsu.or.jp/>

・日程

10/21（土）

秋1 発達障害がある子とのコミュニケーションを確実にする支援技術ー子どもへの理解を深める

秋2 発達障害・知的障害のある子どもの家族への支援ー児童虐待への対応も含めて

10/22（日）

秋3 指導に活かす発達の評価ーWISC-IVを中心に

S1 ADHD・ASDの子どもへの学童期への指導ー社会性の課題を中心に（締切済）

S2 基礎から学ぶ発達障害のある子への支援ー学童期を中心に

10/28（土）

秋4 音楽療法と動作法を用いた発達支援ー心と身体へのアプローチ

秋5 愛着形成と双極性障害への理解と対応ー発達障害との関連も含めて

10/29（日）

秋6 衝動的な行動への理解と対応ー約束の伝え方も含めて

S3 知的障害・発達障害のある子のほめ方・叱り方・伝え方ー合理的配慮の視点も含めて

S4 自閉症スペクトラム障害の子どもへの幼児期の指導ー生活技能を中心に（締切済）

11/11（土）

秋7 遊びを通して発達を促すー生活動作、学習、ソーシャル・スキルを中心に

秋8 脳の働きをふまえた発達支援ー「注意」へのアプローチを中心に

11/12（日）

秋9 発達障害・知的障害のある子の「感覚」への対応ー感覚統合療法と動作法からのアプローチ

秋10 幼児期に育てたい集団参加の力ー衝動的な子への対応も含めて

★お申込み方法

《申し込み》お電話・FAX・発達協会ホームページから、お申し込みいただけます。

・電話：03-3903-3800

・Fax：03-3903-3836

・HP：<http://www.hattatsu.or.jp/>

《ご注意》・同じ日程で開催されるセミナー（例：1，2）

を申し込むことはできません。

・申し込みの殺到が予想されるセミナーもございます。

お早めにお申し込み下さい。

《時間》各日 10:15～16:20（いずれも1日単位での開催です）

《定員》約150～300名（定員になり次第、随時締め切ります）

《会場》東京ファッションタウン（TFT）ビル東館 9階研修室

東京都江東区有明 3-6-11

りんかい線「国際展示場」駅より徒歩5分、ゆりかもめ「国際展示場正門」駅より徒歩1分

《受講料》各9,050円（税込）（会員8,220円（税込））

10月21日（土）

秋1 発達障害がある子とのコミュニケーションを確かにする支援技術ー子どもへの理解を深める

発達障害のある子は、多少の差はあれ、コミュニケーションに困難さを抱えています。ただ本人が自覚していることは多くないので、意図せず起こるトラブルに被害的になったり自信を失ったりするケースもあります。支援者には子どもの特性をふまえ、環境調整やコミュニケーション・スキルを支援することが求められます。彼等の友人関係や人間関係への理解も含め、臨床経験豊富な講師陣が事例とともにお伝えします。

①発達障害がある子のコミュニケーション特性とは 兵庫教育大学 井澤信三

②コミュニケーション支援の実際 兵庫教育大学 井澤信三

③発達障害のある子の友人関係・人間関係 ボイスマネージ 村上由美

10月28日（土）

秋4 音楽療法と動作法を用いた発達支援ー心と身体へのアプローチ

動作法と音楽療法という二つのアプローチで、子どもの身体、心、コミュニケーション等の発達を促す方法を学びます。子ども自身が、活動を通して自分の身体や心に向き合うこと、人と関わることや楽しさを共有することがねらいです。子どもの意欲を引き出す指導の実際を、実践経験豊富なお二人の講師から学びましょう。活動内容を組み立てる立場の先生方、支援の幅を広げたい方におすすめてです。

①発達障害・知的障害のある子の身体とリラクゼーションー動作法を中心に 静岡大学 香野毅

②音楽療法の意義と進め方ー情動やコミュニケーション能力への働きかけ 日本大学芸術学部 土野研治

③音楽療法のセッションー事例も含めて 日本大学芸術学部 土野研治

10月28日(土)

秋5 愛着形成と双極性障害への理解と対応ー発達障害との関連も含め

愛着の形成不全は、子どもの発達や成長に大きな影響を与えます。時に、子どもの「行動の問題」として表面化することがあり、支援側は対応に苦慮します。このセミナーでは、愛着形成について脳科学の視点から理解を深め、関わり方のポイントを学びます。また双極性障害について、発達障害との関連や合併も含めて理解を深めます。子どもの心の育ちに関わる最新のトピックが満載です。

①愛着の問題を抱えた子への関わり方 山梨県立大学 西澤哲

②発達障害のある子と愛着形成障害の脳科学 福井大学 友田明美

③双極性障害のある子どもへの対応ー発達症との併存を含め 京都大学 十一元三

11月12日(日)

秋9 発達障害・知的障害のある子の「感覚」への対応ー感覚統合療法と動作法からのアプローチ

「感覚」の問題に注目が集まっています。DSM-5から、ASDの診断基準には感覚の過敏さや低反応といった項目が設けられました。「感覚」の問題は、偏食が多い、特定の音が苦手など、生活のしづらさにつながります。このセミナーでは、「感覚」のメカニズム等、理論をふまえたアプローチ方法をお伝えします。また身体と心の緊張が高いお子さんへの、動作法によるリラクセーションの実際も学びます。

①「感覚」の過敏と低反応ー子どもの抱える困難さを理解する

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 岩永竜一郎

②「感覚」への支援の実際ー感覚統合療法からのアプローチ

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 岩永竜一郎

③緊張が高い子へのリラクセーションー動作法を中心に 明治学院大学 清水良三